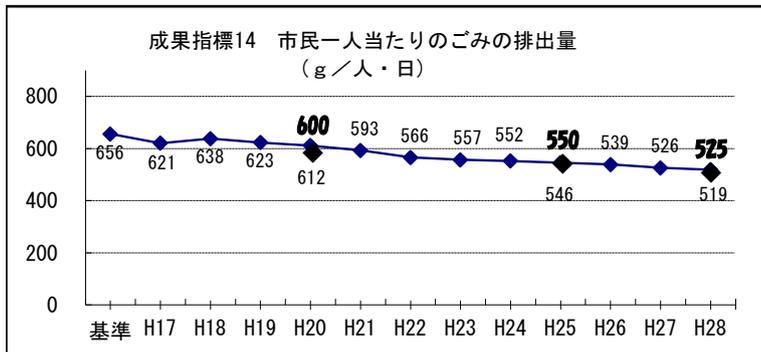


柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	I リデュース・リユース
ビジョン	買う人・売る人・作る人 いつも心に“もったいない”

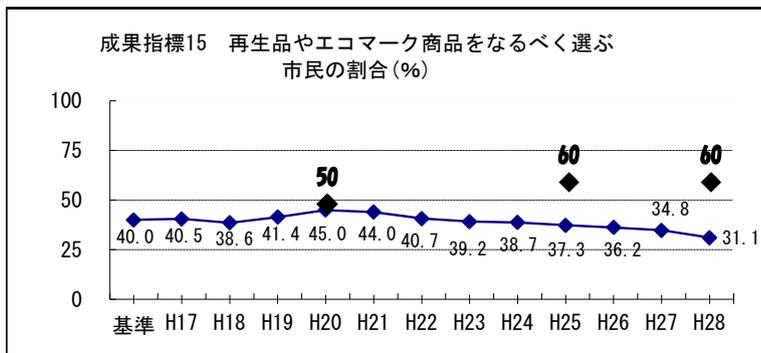


**主な事業**  
 ごみ指定袋制、レジ袋の有料化  
 集積場所での資源回収  
 EM処理剤の無料配布  
 広報等による啓発

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**  
 「市民一人当たりのごみ排出量」は19年度から徐々に減少し、28年度は、27年度より7g減の519gとなり、目標を達成しました。プラスチック製容器包装については、28年度から、ごみ集積場所に出せる回数が月3回から週1回に増え、資源として出しやすくなったことが、ごみ減量が進んだ要因の一つと考えられます。

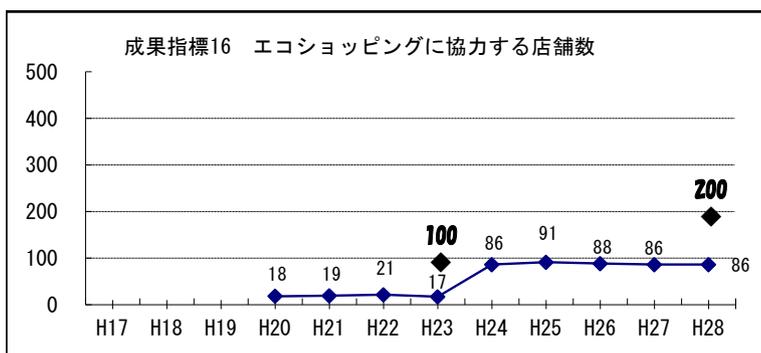


**主な事業**  
 リサイクルフェア  
 資源集団回収  
 分別収集事業  
 広報等による啓発

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**  
 「再生品やエコマーク商品をなるべく選ぶ人の割合」は、20年度をピークに徐々に下がり続け、23年度から基準値を下回っており、順調とはいえません。循環型社会の形成のため、市民が再生品やエコマーク商品を選ぶように促すための啓発が必要です。



**主な事業**  
 レジ袋有料化  
 広報等による啓発

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

**成果指標の分析**  
 「エコショッピングに協力する店舗数」が24年度に大幅に増加したのは、後期計画から定義付けを改め、数値の把握に努めたためです。しかし、店舗の新設や閉店を確実に把握することが困難なため、正確な数値の把握が課題です。27年度にスーパーマーケット2店舗がレジ袋有料化の協力から脱退しましたが、今後は、バラ売りなどの取り組みの協力を求めていく必要があります。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

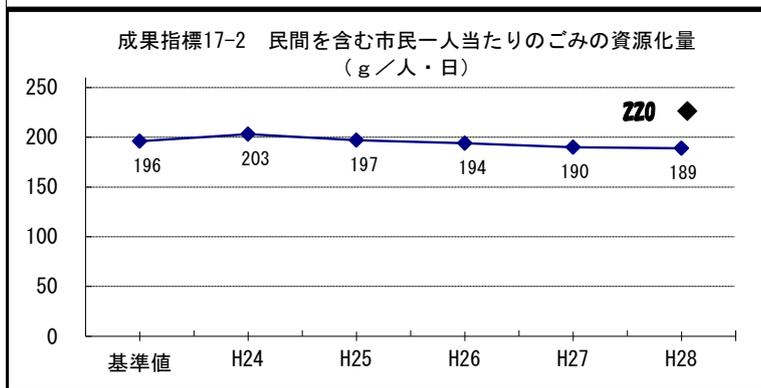
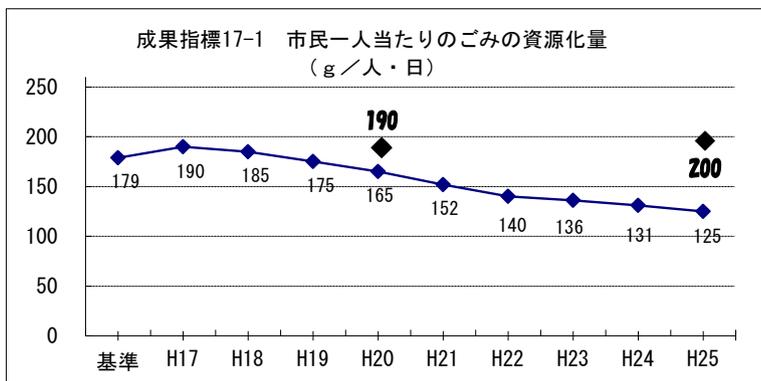
**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

市民一人当たりの家庭系ごみ排出量は年々減少しています。これは、全国的なごみの減少傾向に加え、小型家電の資源回収開始、プラスチック製容器包装の回収日の増などによるものです。

今後、第2次東海市環境基本計画に基づき、次の取り組みが必要となります。

- ①ごみ分別アプリの活用
- ②3010運動を参考とした取り組みの実施
- ③食べきり・使いきりの推進
- ④水きりの推進

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分



**主な事業**

- リサイクル情報事業
- フリーマーケットの開催
- リサイクルフェア開催

**計画通りに成果が上がっているか**

目標達成  
 順調  
 順調でない

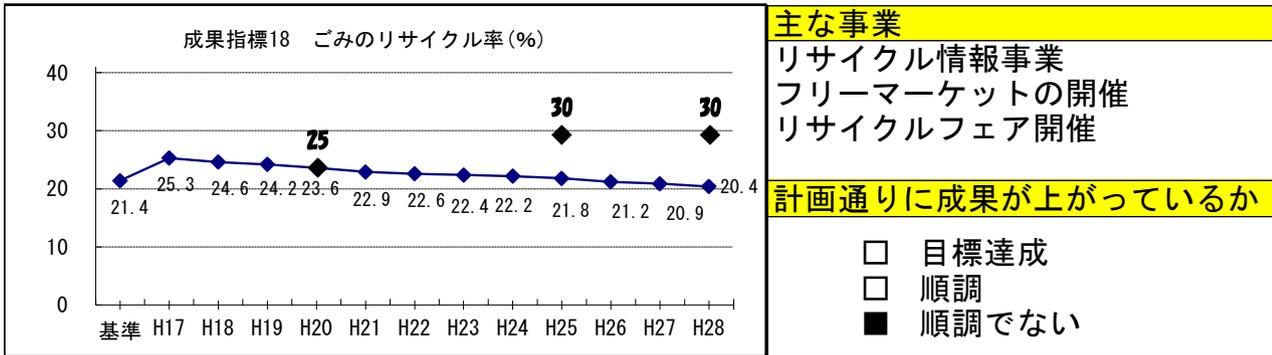
**成果指標の分析**

「民間を含む市民一人当たりのごみの資源化量」は、25年度から徐々に減となっています。これは容器包装自体の軽量化や新聞の購読数の減少等によるものと考えられます。

ごみの中には資源化できるものがまだ多く存在しており、特に紙類、プラスチック類、剪定枝及び刈草の資源化を推進する必要があります。

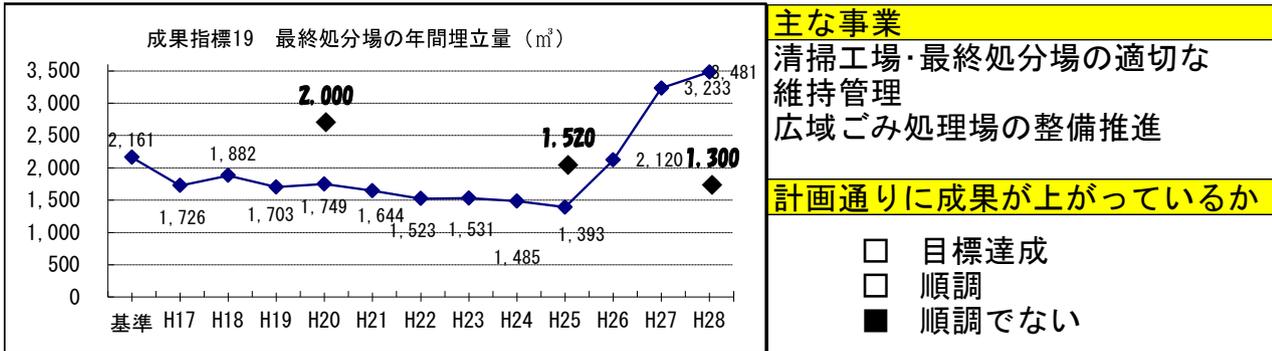
※ 平成26年度より成果指標17-2へ統合

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分



**成果指標の分析**

ごみ搬入量・資源回収量ともに減となっており、リサイクル率も減となっています。資源量の減は容器包装自体の軽量化や新聞講読数の減少等によるものと考えられます。紙箱・包装紙等の雑紙に資源化の余地があります。



**成果指標の分析**

26年度は、灰溶融炉の故障等で、27年度からは、灰溶融炉の整備費を抑えるため1炉運転体制としたため、焼却灰の埋立量が増加しました。しかしながら、25年度以降、場外搬出での埋立てとセメント資材への資源化で処理をしているため、東海市の最終処分場への埋立て量は0です。

成果が向上する余地（可能性）は？  大  中  小

**第1次東海市環境基本計画を振り返って**

ごみと資源に関する環境の変化により、資源回収量は減少傾向にありますが、第6次東海市総合計画のまちづくり指標31「ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合」は約90%と非常に高いことから、家庭での資源化は定着していると考えられます。

そのような中、市は平成28年4月からプラスチック製容器包装の回収日を増やし、平成23年3月から小型家電及び硬質プラスチック等の回収を開始したことで、これらの品目の資源化量は順調に増加しています。

今後、第2次東海市環境基本計画に基づき、事業系一般廃棄物の適正処分と資源化の推進が必要となります。